

スキーバス、カーブの下り坂、ガードレール突き破り、転落 14人死亡を確認

2016年01月15日 10時57分

15日午前2時頃、長野県の国道で、スキー客を乗せたバスが道路脇の崖下に転落した。同県警や消防によると、バスには乗員・乗客計41人が乗車しており、このうち男性9人と女性5人の計14人の死亡が確認されたほか、27人が重軽傷を負った。長野県警は同日、捜査本部を設置し、自動車運転死傷行為処罰法違反(過失運転致死傷)容疑で捜査を始めた。県警などによると、死亡したのは20～30歳代が中心で、うち1人はバスの男性運転手とみられる。道路はバスからみて緩やかな左カーブの下りの坂道で、バスは対向車線にはみ出した後、ガードレールを突き破って道路右側約3メートルの崖下に転落。立ち木にぶつかり、横転したとみられる。

国交省 きょう、正午からバス運行会社に特別監査 運行管理・健康管理に問題が無かったか確認

2016年1月15日 10時36分

今回の事故で、国土交通省は15日正午から、バスを運行していた東京都の会社に、特別監査を行うことを決めました。特別監査では、関東運輸局の担当者らが会社に立ち入り、バスの運行管理や運転手の健康管理などに問題がなかったか確認することになっています。

ドライバーは、“こまめに休憩！” “重大事故”が発生してからでは、“遅い”

2時間ごとに、15分休憩！

車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中すること

自分は、事故を起こすはずがない？ 事故に遭うはずがない？

事故の要因は、運転者の
気抜き・手抜き・ぼんやり・わがまま・・・にある

踏切手前 路面凍結 止まると思ったら・・・スリップ！ 特急スーパーとかちと衝突 JR千歳線

2016/01/15 09:36

【千歳】14日午後10時ごろ、千歳市のJR千歳線東8線踏切で、線路に進入した男性(19)の乗用車が、帯広発札幌行き特急スーパーとかち(5両編成)の側面に衝突した。男性と同乗していた女性、乗員乗客約80人にけがはなかった。JR北海道によると、札幌-新千歳空港、苫小牧間で、この列車を含む6本が運休または部分運休となり、函館-札幌間の特急や普通列車に最大2時間5分の遅れが出た。千歳署などによると、事故当時、遮断機は下り、警報機も鳴っていたという。特急が踏切を通過している時に乗用車が突っ込み、列車2両目の左側面と乗用車の前方が衝突した。踏切付近の路面は凍結しており、男性は「ブレーキをかけて止まると思っていたが、スリップして止まらなかった」と話しているという。

わき見運転？ 午前5時 トラックの運転手 「直前まで気付かず」 トラックにはねられ男性死亡、頭など強打

2016年1月15日(金)0時44分

14日午前5時10分ごろ、埼玉県の市道で、無職の男性(69)がトラックにはねられ、頭部と胸を強く打ち、搬送先の病院で死亡が確認された。警察は自動車運転処罰法違反(過失傷害)容疑で、トラックを運転していた、会社員の男性容疑者(21)を現行犯逮捕、容疑を同致死に切り替えて調べている。容疑者は会社を出発し、荷物の回収に向かう途中だった。容疑者は「直前まで気が付かなかった」などと話しているという。

工場内での労災事故 会社と現場責任者を書類送検 労働基準監督署 現場責任者は危険防止に必要な措置を講じなかった

(2016年1月14日 11:55)

伊賀労働基準監督署は1月14日、労働安全衛生法違反の容疑で金属製品製造業の本社と工場の現場責任者の男性(32)を書類送検したと発表した。発表によると、昨年7月、現場責任者の男性は資材の鉄板を運ぶ搬送用機械の運転を停止し、男性社員(25)に調整作業を行わせたところ、誤って作動した機械が頭部に接触し、重傷を負う労災事故が発生。現場責任者は危険防止に必要な措置を講じなかったとしている。

午前7時 登校中の女子高校生が、路線バスにひかれ重傷 同社の路線バスは、7日に暴走し、アパートに突っ込む事故があったばかり

2015年1月15日(金)1時48分

14日、東京都で、登校中の女子高校生が、路線バスにひかれて重傷を負いました。現場近くでは、今月7日にも同社の路線バスが暴走し、アパートに突っ込む事故があったばかりです。14日午前7時半前、自転車で登校中の女子高校生が路線バスと接触して転倒し、バスの後輪に右足をひかれました。女子高校生は病院に運ばれましたが、重傷です。女子高校生は自転車で歩道を走っていましたが、歩行者を避けるために車道に出たところ、後方から来たバスと接触したということです。現場近くでは、今月7日にも同社の路線バスが100メートル以上暴走し、アパートに突っ込む事故があったばかりです。